

# 令和6年度 家庭教育応援講座講師一覧表

(五十音順)

NO.	氏名	役職・肩書	講演テーマ、内容	保護者向け	親子向け	親子向け (幼児)
1	遠藤 由美	NPO法人子育てネットひまわり 理事 えんどうまめのおはなし会主宰	～絵本は愛の体験です～ 親子でわらべうた、お話、絵本等を楽しむ時間は、子どもたちが成長していく過程を応援する強い力となります。	○	○	○
2	岡 静子	元小学校長	・子どもの笑顔大切に ～子どもに寄り添うとは～ 『相手を大切に思うこと、子どもの心の中のパワーを引き出すこと、とにかく子どものやる気を引き出すためには、よく見て、よく聴いて、よくほめていくことが大切だと思います』同時に生活リズムについて	○		
3	岡 実樹	元小学校教諭、産業カウンセラー 児童発達支援・放課後等デイサービスいろは代表	特性がある子への自己肯定感を高める声かけ 親子関係をよくするコミュニケーション方法（アサーティブコミュニケーション） 子どもの集中力は「好き」から始まる。好きを見つけて伸ばす子育て 子どもの声に耳をかたむけよう。親の傾聴力を高めるコツ	○		
4	金崎 洋一	ダンサー	【保護者向け】ヨガ、ストレッチなどを組み合わせたエクササイズを行い、心身のリフレッシュを図る。 【親子向け】子どもの年齢に合わせた親子での運動・遊び・ダンスを行い、親子の時間、体を動かすことを楽しむ。	○	○	○
5	川染 節江	元明善短期大学長、農学博士、管理栄養士	・家庭における食習慣や食育について考えましょう！ ・香川の食文化を子どもに教えましょう！ ※希望がありましたらご相談させていただきます。	○	○	
6	川田 行美	はぐたいむヨガ® 一こどもと大人のためのヨガと瞑想&English 一代表、 ヨガ・英会話講師	一ヨガで心と身体をほぐしましょう一 ・自分を大切に（自分の感じ方（心と体）に気づいて大切に練習） ・心身を健やかに（身体を動かす気持ちよさ、心を休めるマインドフルネス） ・親子でふれあう（心理的安心感、楽しさと温もり、絆づくり）	○	○	○
7	木内 ひとみ	総合型地域スポーツクラブ「むれスポーツクラブ」 フィットネス専門委員長	【親子向け】親子ふれあい体操や、ストレッチなど 【保護者向け】リンパコンディショニング、ストレッチヨガなど ※内容は相談して決める事もできます。	○	○	○
8	喜多 直美	高松市コミュニティスポーツ指導会会長	運動好きな子にするための親の関わり方	○	○	○
9	鬼無 敬子	元小学校長、元幼稚園長	・子どもと保護者がともに命の尊さを実感できるような歌とお話（いのちのうたコンサート）、（日本の歌や名作） ・親の役割、家庭のあり方を考える子育ての話 ・絵本の紹介を通して親子で学ぶ子育ての話	○	○	○
10	木村 アンリ	ラジオパーソナリティー・ アルミックジェンダー研究室 室長	・LGBT関連 ・高松の歴史エピソード ・高松水物語 ・糸より姫伝説 ・静御前の生涯 ・栗林公園、だれも知らない秘密	○	○	
11	こもだ 恵	スタジオトゥルーチーフインストラクター 日本ペップトーク普及協会認定講師	「やる気を引き出す魔法の言葉」ペップトーク！ ペップトークとはやる気のスイッチを入れるための言葉がけのことです。アメリカのスポーツから生まれたペップトーク、今や教育、家庭、ビジネスの世界にどんどん広がっています。出来ないことに対して「なんで出来ないの！！」とっていませんか？その捉え方を変えて伝えると劇的に変化が起きます。	○	○	○
12	佐藤 敦雄	高松市人権教育課 社会教育指導員	「人権意識の高い子どもたちを育てるために」をテーマに、『子どものほめ方』『自尊感情や自己肯定感の高め方』『差別を支える習慣や風習の存在』など、子どもの成長にとって大切な保護者自身の人権意識の高揚につながる学びを提供する。	○		
13	十川 智美	子育てコーチ、笑顔のコーチングファシリテーター、 NPO法人日本コーチ協会四国チャプタ相談役、 NPO法人日本ファシリテーション協会四国サロン香川世話人	・笑顔で子育て 家族仲良くコミュニケーションのコツ ・ほめ方叱り方 ・家庭内ミーティングのすすめ 保護者の交流の機会、保護者の情報（不安）の共有。 笑顔のコミュニケーションのコツを話し、体験していただきます。	○		
14	田中 司	三井住友海上保険株式会社 関西総務 人事総務チーム パラアスリート 視覚障がい者柔道	テーマ「夢への挑戦」 野球少年でしたが中学3年の冬、視覚障がいを発症。その後、さまざまなスポーツを通じて挑戦することの大切さや共生社会について	○	○	○
15	谷川 由紀	高松太田社労士事務所 代表	「アンガーマネジメント技術を学び、子育てをもっと楽しく！」 自分の感情を上手にコントロールできるようになると生きやすさにつながり、周りとのコミュニケーションも豊かになります。	○		
16	瑞田 信弘	浄土真宗本願寺派 称讃寺 住職 一般社団法人 わライフネット 代表理事	・子供・親・祖父母の関係 ・頑張るを見つける ・縁の話 ・お釈迦様の話 ・興味を活かす ・くじけず失敗する	○	○	
17	田村 治仁	高松市パラスポーツ協会 理事長 さらスポーツクラブ クラブマネージャー 一般社団法人IINE 代表	・ルールを守ることの大切さ ・共生社会に向けて ・想像力をはたらかせて相手のことを考える ・パラスポーツについて	○	○	○
18	中橋 恵美子	NPO法人わははネット	・伝統おもちゃを使ったふるさと教育 ・木育 ・家庭教育	○	○	○

NO.	氏名	役職・肩書	講演テーマ、内容	保護者向け	親子向け	親子向け (幼児)
19	永見 三智子	伝々虫	肉声で語られる物語を聞くことで想像する楽しみを味わい、それが子どもの心の成長に欠かせないばかりか、お話には子育てを楽しむヒントが詰まっているということ。 ※おはなし会、本などの紹介、わらべうた、お話のミニワークショップ等、ご相談に応じます。	○	○	○
20	能祖 秋奈	レクリエーションインストラクター	・親子のふれあい体操 (バスタオル・新聞紙等を使用し、親子でコミュニケーションを取りながら、楽しく体を動かす。)			○
21	野郷 光宏	元小学校長	・人権を大切にしていしあわせづくりを ~まず、自ら、そして、あなたも、みんなで~ 人権とは、存在、ちがひ、個性、多様性を認めること。 一人ひとりが尊重され、多様性を認め、大切にしていける。 多文化共生社会の実現をめざすことを知り、感じ、実践していくことを学ぼう。	○	○	
22	蓮井 孝夫	香川国際ボランティアセンター理事 (認定NPO法人) フリーアナウンサー	・子育てコミュニケーション (カウンセリング的コミュニケーション)	○		
23	早谷川 悟	栗林おやじ塾代表	・学校と地域のつながり ・コミュニティースクールについて ・おやじの会について	○		
24	花房 順子	(公財) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー	・「子どもの心と体」~今、保護者がするべきこと~ ・家庭でできるスポーツ選手のトレーナー ・成長期が一番の基礎になる。	○	○	○
25	原田 さとみ	高松市民生委員、NPOマナー教育サポート協会講師 電話対応技能検定指導者、コーチングコーチ 自己肯定感メンタルトレーナー	子どもの自己肯定感を育む	○		
26	堀尾 光宣	元高松市中学校数学科教員、高松市こども未来館運営協議会委員、丸亀少女の家(四国少年院分院) 数学指導員	私は中学校での経験のもと退職後、施設のこどもたちや様々な境遇のこどもたちとのかかわりをもっています。そのことで、こどもの心や考え方への理解、こどもの学びの大切さ、子どもへ寄り添い・動きかけを実例や実体験を通してお話しします。令和5年度は10度以上講演等を行いました。またこのことに関して、子どもへの直接支援を実施します。直近まで外国籍だった児童生徒2名の学習支援者として活動しています。 講演タイトル(仮)「こどもの学びは親(大人)への写し鏡」	○	○	
27	町田 仁美	日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントコンサルタント、まちだ社会保険労務士事務所代表、 米国NLP(TM)協会認定NLPコーチ	・イライラ子育てから笑顔の子育てへ ~アンガーマネジメントのすすめ~ ・子どもに伝わる叱り方 ・コーチング、アサーティブ、アンコンシャスバイアス、コミュニケーション ・折れない心をつくる親から子へのギフト(贈り物)~リフレーミング~	○		
28	松本 洋子	公社) 日本シェアリングネイチャー協会ネイチャーゲームインストラクター	座学中心ではなく体験型です。 小学校、幼稚園、こども園、保育所の園庭や校庭の身近な自然に直接触れて、五感を働かせて季節の自然を感じる体験をします。子どもたちが自然に触れて感じた発見や驚きを受容し認めることの大切さに、体験を通して気づいて頂ける内容です。	○	○	○
29	元木 倫子	穴吹パティシエ福祉カレッジ 非常勤講師 四国学院大学 非常勤講師	【実技】・親子で体を動かして心をつなごう ・親子体操 ・楽しくできる体づくり運動 ~コーディネーション能力~ 【講話と実技】・運動遊びの大切さと今身につけるべき力 ・子どもたちに非認知能力を！~就学前の運動遊びで非認知能力を高める~	○	○	○
30	山本 真紀	日本赤十字社香川県支部 事業推進課課長補佐兼講習普及係長	【幼児安全法】 ・乳幼児の心肺蘇生・AED ・乳幼児の応急手当 ・子どもに起こりやすい事故の予防 ・子どもの病気と看病のしかた ・災害時の乳幼児支援 【防災教育】 ・親子で ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん ・親子で 防災すごろく ・災害シミュレーション ・BCW(防災コミュニケーションワークショップ)	○	○	○
31	吉川 和代	月経カウンセラー	男女共に伝える「生理の授業・性教育」 女子にとって「生理」は成長の証でもあり、喜ばしいことですが、体にとったら負担が大きいです。生理によって学校や日常生活に支障が出る程、悩んでいる子が近年増加しています。女子だけでなく、男子も恥ずかしさが出る前の段階で正しく「生理」を知ることで思いやりの言動が育まれます。思春期を元気で充実させるためにどうしたらいいのか？保護者の皆様は、どう見守り寄り添えばいいのか？わかりやすくお伝えしていきます。	○	○	
32	吉田 ゆかり	NPO法人 未来ISSEY 代表理事	・ボランティアのあり方・育成について ・「子どもが病気になるっても、子どもとご家族が希望をもって生活できる香川を創る」ことを目指す未来ISSEYの活動 ・人と人をつなぐ「つながりロボット事業」について ・プレゼンテーションのノウハウ ・すてきなマナーのお話 ・がん教育(厚労省のモデルを利用、授業支援)	○	○	○